

〈開会式〉

校長先生より挨拶があり、実行委員の皆さんは朝7時から準備をして下さったこと、今日までに多くの時間を使って準備をして下さったこと、地域の皆さんに感謝をしましょうというお話をされていました。

大会説明では競技中はマスクを外してもよい事、水分補給はこまめに行うことなどの注意事項が伝えられ、競技開始の号令がかかると、子どもたちは勢いよくお目当ての競技に向かって行きました。

〈ストップウォッチサイコロ止めチャレンジ〉

サイコロを振って秒数を決め、目隠しをして目標の秒数でストップウォッチを止めるチャレンジです。

自身の体内時計を信じ、静かにカウントする子、リズムを刻みながらカウントする子、それぞれのスタイルで挑戦していました。サイコロの目×10 秒が目標になるので、「1」（＝10 秒）を出せるかどうか勝負の分かれ道だったようです。

〈重さピッタリはかりチャレンジ〉

お椀にビー玉を入れていき、重さピッタリ 222 g を目指し競いました。

何種類かの入れ物があり、出し入れも3回までとなっているため難しそうですが、繰り返しチャレンジして重さの量感などをつかめて目標に近づいている子もいました。

〈ペットボトルキャップ掴み取りチャレンジ〉

ペットボトルのキャップを多く掴み取り、キャップごとの得点の合計を競いました。

低学年の子は小さなかわいい手で両手いっぱいにつまみ、高学年の子は精一杯手を広げワイルドに鷲掴みしている姿が印象的でした。

〈牛歩チャレンジ・高学年〉

100 cm のコースをどれだけ遅く進むかを競いました。

一見簡単そうに見えますが、必ず膝が動いている状態でなければならず、バランス感覚が大事なチャレンジでした。「牛の歩みも千里」と言います。努力を怠らなければ大きな結果が得られるということを思い出させるチャレンジでした。

〈靴飛ばしチャレンジ・高学年〉

どれだけ自分の靴を遠くまで飛ばせるかを競いました。

ブランコに乗りながら靴を飛ばすのとは違い、立ちながら靴を遠くまで飛ばすのは難しかったです。思いがけず高く飛んでしまったり、コロコロ転がってしまったり。美しく弧を描き遠くまで飛んでいくのは見るだけでも爽快でした。

〈タイヤ飛び越え回数チャレンジ・高学年〉

タイヤ遊具を使い 30 秒で何回飛び越えられるかを競いました。

跳躍力・持久力を問われる難易度の高いチャレンジでした。皆マスクを取ってチャレンジしていました。タイヤを飛び越えていると 30 秒は短いようで長いです。最後の方は動きが止まってしまう子、息も絶え絶えの子、とても体力を使うチャレンジだったようです。

〈視力 5.0 チャレンジ〉

どこまで遠くのものを見られるかを競いました。

今回のチャレンジランキング大会の中で多くの敷地を使っていた競技です。

視力に自信のある子供たちが果敢に挑戦していました。5.0 の地点はとてつもなく遠いです。5.0 の世界を体験してみたいものです。

〈カウンター回数最多チャレンジ〉

制限時間内にカウンターをどれだけ多く押せるかを競いました。

両手で包むよう持ったり、片手で握ったり、それぞれのスタイルで挑戦していました。高学年は 30 秒、低学年は 15 秒、集中してカウンターを連打した後、記録を更新して喜ぶ子、更新できずにがっかりする子、悲喜こもごもの表情が印象的でした。

〈豆つまみ皿移動チャレンジ〉

1 分間でどれだけ多く的大豆を箸で移せるかを競いました。

皆コロコロ・ツルツルする大豆に苦戦していました。なかなかつまめないといらいラしてきますよね。やはり上手に移している子は箸の持ち方がきれいな子が多かったように思います。

〈ページ一発チャレンジ・低学年〉

指定されたページを一回開く作業のみでピッタリ開けるかを競いました。

約 450 ページの本を使って競いました。役員の方がヒントを出してくれていましたが、なかなか難しかったようです。そんな中でも開始早々にピッタリ当てた子がいたようです。素晴らしい強運の持ち主ですね。

〈スタンプ早押しチャレンジ・低学年〉

マスの中に 30 秒でどれだけ多くスタンプを押せるかを競いました。

横に順に押ししたり、縦に順に押ししたりそれぞれのやりやすい方法で早押しに挑戦していました。スタンプが重なったり、マスからはみ出したりしていると点数にならないので、テンポよく丁寧に押している子が高得点をたたき出していました。

〈長さピッタリカットチャレンジ・低学年〉

ロール紙を 12 c m の長さピッタリ目指してハサミで切り、どれだけ近づけるかを競いました。

ピッタリ賞が複数名いたため、上位 3 位は抽選となりましたが、残念ながら抽選に外れてしまった子もおめでとうございました！

〈表彰式・閉会式〉

競技終了後は各競技の上位 3 名の表彰が行われました。1 位 switchlight、2 位 セグウェイ、3 位 リップスティックの豪華賞品と賞状が授与されました。名前を呼ばれると大きな歓声が上がったり、盛大な拍手が送られたりしました。

顧問の伊藤たかはる氏より閉会の挨拶があり、また実行委員の方より夏休み中の食のイベント「ドリームキッチン」のお知らせがありました。詳細については追ってお手紙が配付されるそうです。最後に参加賞のお菓子が全員に配られ、松山チャレンジランキング大会は幕を閉じました。